

原子力規制委員会 殿

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
理事長 児玉 敏雄
(公印省略)

核燃料物質使用変更届

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 5 5 条第 2 項の規定に基づき、下記のとおり核燃料物質の使用の変更を届け出ます。

記

1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
名 称 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
住 所 茨城県那珂郡東海村大字舟石川 7 6 5 番地 1
代表者の氏名 理事長 児玉 敏雄
事業所の名称 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所
事業所の住所 茨城県那珂郡東海村大字白方 2 番地 4

2. 変更内容

プルトニウム研究 1 棟及び再処理特別研究棟における核燃料物質の年間予定使用量及び予定使用期間を、令和 3 年 1 2 月 1 日をもって変更する。変更の詳細は別紙 1 及び別紙 2 のとおりである。

3. 変更理由

プルトニウム研究 1 棟及び再処理特別研究棟における施設の廃止に向けた措置の実施に伴い核燃料物質の使用及び貯蔵を終了するため、年間予定使用量及び予定使用期間の記載を変更する。

4. 備考

本届出による核燃料物質の年間予定使用量及び予定使用期間の変更は、令和 3 年 1 2 月 1 日付原規規発第 2112013 号による核燃料物質の使用変更許可に伴うものである。

別紙 1

変更内容

プルトニウム研究 1 棟における核燃料物質の年間予定使用量及び予定使用期間を、令和 3 年 1 2 月 1 日をもって変更する。(下線部：変更箇所)

(変更前)

5. 予定使用期間及び年間予定使用量

核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量	
		最大存在量	延べ取扱量
<u>劣化ウラン</u>	共通編に記載	<u>0g</u>	<u>0g</u>
<u>天然ウラン</u>		<u>0g</u>	<u>0g</u>
<u>濃縮ウラン</u>			
<u>5%未満</u>		<u>0g</u>	<u>0g</u>
		(²³⁵ U量 0g)	(²³⁵ U量 0g)
<u>5%以上 20%未満</u>		<u>0g</u>	<u>0g</u>
		(²³⁵ U量 0g)	(²³⁵ U量 0g)
<u>20%以上</u>	<u>0g</u>	<u>0g</u>	
	(²³⁵ U量 0g)	(²³⁵ U量 0g)	
<u>プルトニウム (密封)</u>		<u>0g</u>	<u>0g</u>
<u>プルトニウム (非密封)</u>		<u>0g</u>	<u>0g</u>
<u>トリウム</u>		<u>0g</u>	<u>0g</u>

(変更後)

5. 予定使用期間及び年間予定使用量

核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量	
		最大存在量	延べ取扱量
<u>該当なし</u>	<u>二</u>	<u>二</u>	<u>二</u>

別紙2

変更内容

再処理特別研究棟における核燃料物質の年間予定使用量及び予定使用期間を、令和3年12月1日をもって変更する。(下線部：変更箇所)

(変更前)

5. 予定使用期間及び年間予定使用量

核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量	
		最大存在量	延べ取扱量
<u>天然ウラン</u>	共通編に記載	<u>0g</u>	<u>0g</u>
<u>劣化ウラン</u>		<u>0g</u>	<u>0g</u>
<u>プルトニウム</u>		<u>0g</u> (非密封)	<u>0g</u> (非密封)

(変更後)

5. 予定使用期間及び年間予定使用量

核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量	
		最大存在量	延べ取扱量
該当なし	二	二	二